

小松川第二小学校応援団実践報告書

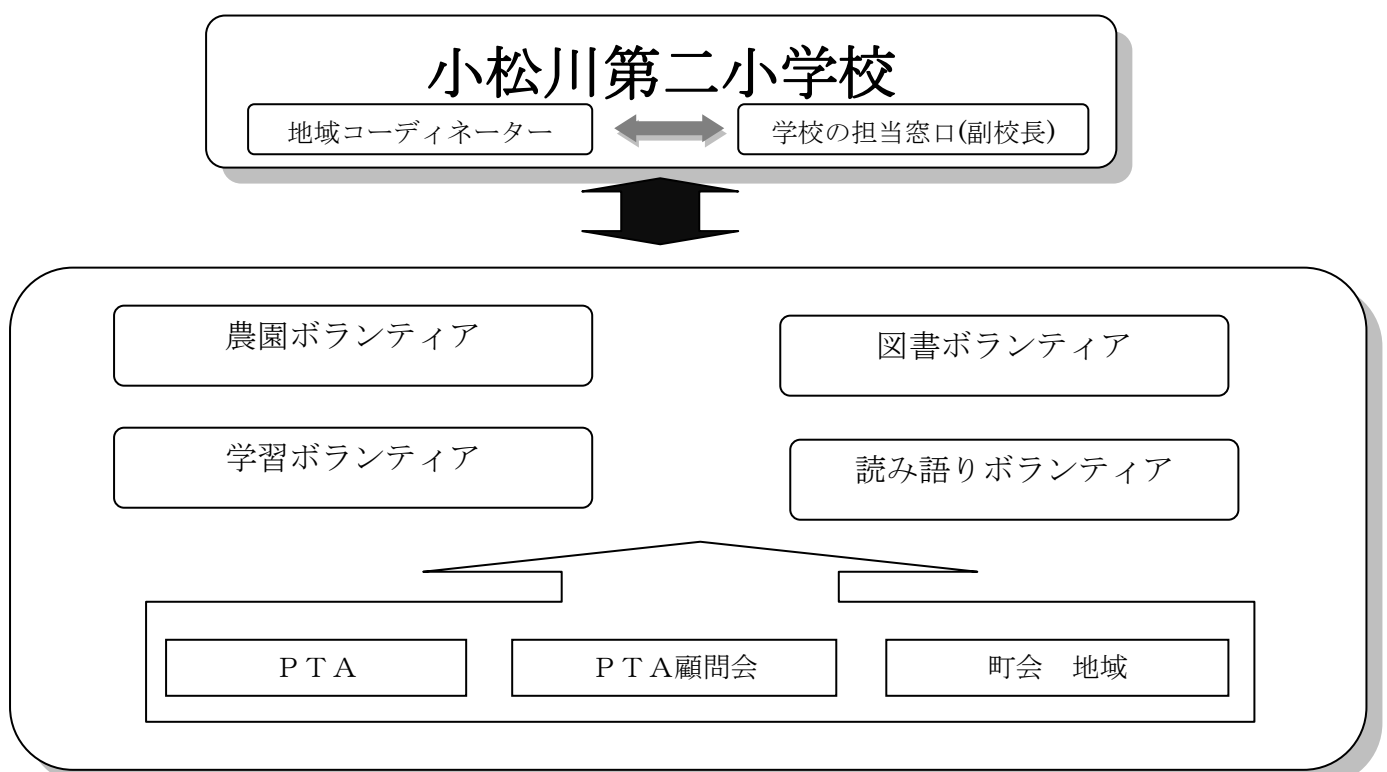
1 校長及びコーディネーター氏名

小松川第二小学校長 鶴田麗子
代表 近藤幹郎

2 今年度の活動内容

応援団の種類	応援団の活動名	活動内容
農園ボランティア	農園の整備	○農園の土や農具の整備をする ○種や苗を植える畝を作る等の指導支援をする ○種まき、苗植え等の指導支援をする ○水やり、肥料まき等の指導支援をする ○収穫の仕方の指導支援をする
図書ボランティア	図書室の飾り付け 図書の整備 読書活動の手伝い	○図書室入口や壁面等の飾り付けをする ○本の修繕や確認の支援をする ○読書週間の催し物の実施をする
学習ボランティア	校外学習の引率 ゲストティーチャーの活動	○班行動等の引率の補助をする ○社会科学習等で戦争について語り等をする ○生活科・総合的な学習の時間の技術指導をする
読み語りボランティア	読み語り	○朝読書の時間に読み語りをする

3 学校応援団組織図



4 今年度の成果と今後の課題

<成果>

- 農園活動のいただいたため、栽培活動を楽しく行えました。収穫の際には児童の笑顔がみられ、環境の大切さを気付かせることができました。
- 学校図書館が楽しくなるように工夫したり、本の修繕や整備を丁寧に行ったりしてくださっているため、本が読みやすくなっている。また、年に2回の読書週間の催し物を計画実践していただいているため、本に興味をもつ児童が増えてきている。
- 多くの体験が、学習内容を理解する支えである。そのため、学校の周辺の地域を歩き、見たりさわったりすることができた。その活動を応援団の方々のおかげで安全安心に実施することができた。また、学習の内容を深めるためにゲストティーチャーとして企業やお店や地域の方にきていただけたことが見聞を広げることになった。
- 読み語りは、衣装にも工夫をされている場合もあります。児童が興味をもって聞いている様子が見られた。

<課題>

- どのボランティアとも教職員との連携をする時間が取りにくくなっている。
- 農園ボランティアや図書ボランティア等の活動には、用具が必要になることが多いので、事務職員に仕事が偏ることがあり、注意することが必要である。
- 地域では、小さい子をかかえる方やお仕事をされている方が多く、参加者を増やすことが難しくなっている。

5 代表より

- 小松川第二小学校は、保護者が中心の読み語りと図書ボランティア、地域の方が中心となって農園ボランティアとゲストティーチャーの活動など、応援団の皆さんのご協力により、本年度もいろいろな活動を通じて児童を中心に学校を応援することができました。2月のゲストティーチャーで高学年の児童にセーフティ教室として、企業で活躍している方から製品の安全性についての話も2年目になりますが、普段聞くことができない話に熱心に耳を傾けていることが印象に残りました。これからも感受性豊かな児童に育ってもらうため、代表として、積極的に学校を応援していきたいと思っております。

6 学校長より

学習の基盤には、豊かな体験があります。豊かになるということは、多くの方々をつなぎ、環境を味わうことです。その意味で本校の地域は、豊かな体験ができる環境があります。ふれあいをもつことができる多くの方々がいらっしゃいます。

その中で、ご多用にもかかわらず本校の児童のために学校応援団としてご協力いただきありがとうございます。屋外での活動は、このところ暑さ寒さが厳しくなっておりそれだけでも大変です。屋内では、学習の都合に合わせていただくことが多く、思ったように進まないという状況もあります。そうした困難さをご理解いただいた上でのご協力、本当に感謝しております。学校応援団（ボランティア）の方々のお力をさらに教育活動に生かしてまいります。今後ともよろしく願いいたします。